

科目名	基礎ゼミナール				担当	幼児教育学科教員		
形態	演習	単位数	1	開講時期	1年後期	実務経験	—	
必修	卒業：必修				ナンバリング	Y4101	DPとの関連	1
授業概要	基礎ゼミナールは、少人数指導を通して保育者に必要な学びを深めていくことを目的に設置されている。学生は各担当教員の指導に沿って、保育技術の習得、各自の問題意識に基づいた研究への取り組み、社会的スキルの向上に努める。							
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての保育者に必要な社会常識を身に付ける ・専門職としての保育者に必要な学びの態度を身に付ける 							
授業計画	回	内容						
	1	オリエンテーション	基礎ゼミナールの進め方と2年間の流れについて理解する					
	2	保育者に必要な学び	専門職としての保育者に必要となる学びの在り方について理解する					
	3	理想の保育者像	自身の理想の保育者をイメージし、そのために必要な学びについて理解する					
	4	基礎的な保育技術①	保育技術を習得する。手遊びなど					
	5	基礎的な保育技術②	保育技術を習得する。絵本・紙芝居など					
	6	実習日誌の書き方①	記録の意味を理解する					
	7	実習日誌の書き方②	子ども理解と観察のポイントを理解する					
	8	実習日誌の書き方③	遊びの場面の観察を通して、記録の取り方を習得する					
	9	実習の目的の立て方	実習の目的の意義を理解し、目的の立て方を習得する					
	10	保育者に必要な社会常識とマナー	専門職としての保育者に必要となる社会常識とマナーについて理解する					
	11	保育者の職務	現職幼稚園教諭の話聞き、保育者の職務について理解する					
	12	プレ実習	附属幼稚園で遊んだり部分実習をしたりして園児と関わる					
	13	プレ実習の振り返り 研究テーマの設定	プレ実習を振り返る 各自の研究テーマを考える					
	14	研究の進め方	研究を進める上で必要となる資料・情報の収集等について理解する					
15	保育現場での研究の生かし方	各自が選んだ研究テーマが保育現場でどう生かせるかを考察する						
評価基準	保育者になるために必要な学びのあり方を理解し、その態度が備わったのか 社会人として現場に適した社会常識をもってゼミナールに参加することができたのか							
評価方法	授業態度 50% その他 50% (ゼミナールで提示された課題)							
フィードバック 方法	小テストや課題を確認したら、授業内で返却する							
アクティブ ラーニング	グループワーク							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
履修条件	各ゼミ担任の指示に従い、積極的にゼミに参加できること							
授業外学習	教材研究や保育技術の実践など各ゼミナールで指示された課題について事前学習を行っておくこと。ゼミナールは高校までのホームルームの時間とは異なり、授業の一つとなる。大学での学びの基本は、自分自身で課題を見つけ、積極的に追及していくという姿勢にある。基礎ゼミナールを通して学びの基本を身に付けること。							
オフィス アワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること							